

令和6年度 日本語学習支援者講習会

生活に必要な 読み書きの習得支援

日本語を母語としない人が日本社会で自立して生活していくうえで、日本語の読み書きの習得は重要です。一方で、日本語学習において高いハードルになるのも、日本語の読み書きです。

「ひらがな、カタカナができるようになりたい」「漢字がわかるようになりたい」といった要望があったとき、みなさんはどのように支援を行っていますか？

知っているようで知らない、読み書きの習得支援について一緒に考えましょう！



12月22日(日) 13:30~15:30

ハイブリッド開催

定員：対 面 30名 岐阜県図書館 特別会議室（岐阜市宇佐4-2-1）

オンライン 30名 Zoom使用

講師

『生活の漢字』をかんがえる会

新庄 あいみ 氏

主な対象者

- 県内地域日本語教室関係者
- 学習支援教室関係者
- 小・中・高で日本語指導に携わっている人

申込み・問い合わせ

申込み切：12月12日（木）

【申込フォーム】



岐阜県日本語学習支援センター〔（公財）岐阜県国際交流センター内〕

担当：福川 TEL：058-214-7700

主催：岐阜県 事務局：岐阜県日本語学習支援センター〔（公財）岐阜県国際交流センター内〕

<https://forms.gle/TJsf92dRawZ25Fzt9>